

計画の概要

計画策定の目的

少子高齢化の進行により、本格的な人口減少時代を迎えている中、農業分野においても、農業従事者の高齢化や担い手・後継者の不足、耕作放棄地の拡大など農業を取り巻く環境が大きく変化しており、本市の重要な産業である農業を将来にわたって発展させていくためには、長期的な視点から農業振興施策を推進していくことが必要となっています。

そのため、将来に向けて本市の農業振興の方向性を示す君津市農業振興計画を策定することとします。

計画期間

計画期間は、令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までとし、概ね5年ごとに見直すこととします。なお、計画期間内であっても著しい社会経済情勢等の変化や市民ニーズへの対応を考慮して、必要に応じて見直すものとします。

計画策定の視点

- ◆本市の重要な産業である農業の持続可能な発展を目指します。
- ◆非常時の危機管理対策など、農業の主役である農業者が安心して農業を継続できる環境の整備を目指します。
- ◆情報発信や都市交流を促進し、交流・関係人口の増加を目指します。

君津市の特徴

本市の経営耕地面積の約80%が水田であり、面積にして1,616ha、水田の維持が農地の確保に与える影響が大きくなっています。米を取り巻く環境は米価下落や米の消費量減少など厳しい状況となっていますが、稲作を行う基盤である水田を適正な状態で維持していくことは本市の農業振興にとって、担い手の確保、有害鳥獣対策とともに重要な課題となっています。

農業経営は比較的経営面積の大きい法人等から、中小規模の面積の個人まで多様な経営体が担っているのが特徴となっています。稲作のほか野菜、花き、畜産など様々な品目の農業が営まれ、生産物の種類も豊富です。これらの特徴を生かして系統出荷のほか、農産物直売所や産地直送、観光摘み取り園など多様な販売が行われており、市民農園など消費者との交流も行われています。

地区の概要

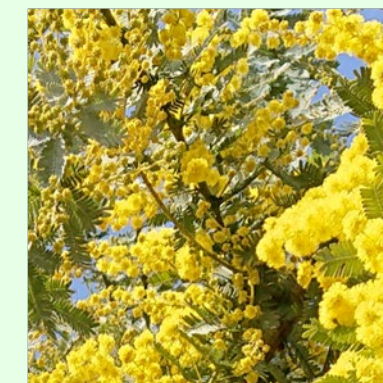
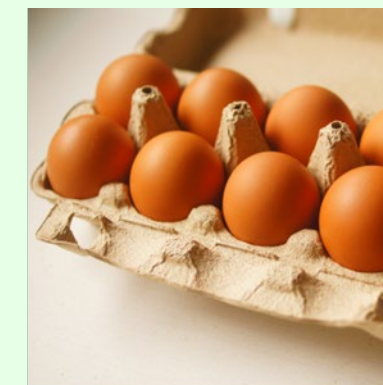
地区	人口	総農家数
君津地区	61,495人	375戸
小糸地区	7,850人	410戸
清和地区	2,545人	233戸
小櫃地区	4,781人	365戸
上総地区	6,334人	507戸



出典：人口：君津市（令和2年12月末）、総農家数：2020年農林業センサス

君津市農業振興計画 概要版

多様な担い手が活躍できる 持続可能な農業の実現



令和5年3月

君津市

多様な担い手が活躍できる 持続可能な農業の実現

- ◆地域の農業や農地所有者、地域住民が農地の活用や農業の活性化について共通認識を持ち、前向きに取り組んでいます。
- ◆新規就農希望者の受け入れや農福連携、環境にやさしい農業などの取組について関係者が理解を深め、多様な担い手が働きやすい環境が整っています。
- ◆農業経営者が営農に関する必要な情報を得られ、経営規模に応じた適切なリスク管理を行いながら的確な経営判断を行い、経営発展に向けて取り組んでいます。
- ◆本市の農業・農産物について理解が深まり、本市の農業・農産物を応援する気持ちをもつ消費者が定着し、交流が継続しています。

取組テーマ・目標

目指す将来像の実現に向け、次の3つのテーマをもとに取組を展開し、下表の項目を目標指標とします。

取組テーマ

- (1) 多様な担い手が活躍できる環境の整備
- (2) 安定した農業経営の確立
- (3) 都市農村交流の促進と環境問題への対応

目標指標

指標	現状値	目標・目標値(令和14年度)
農地の賃借面積	308.6 ha (※令和4年9月時点)	340ha
認定農業者数	106人 (※令和3年度末)	110人
環境や食の安全安心に配慮した取組	ちばエコ農産物認証21件 (※令和3年度)	ちばエコ農産物認証30件 その他の取組 増加

※その他、取組内容個別に目標を設定

テーマ1 多様な担い手が活躍できる環境の整備

多様な担い手が活躍できる環境の整備を目指し、農地中間管理事業の活用などの効率的な農地利用の促進、新規就農者など多様な担い手の育成支援、地域ぐるみで行う有害鳥獣対策の促進を図ります。

1 効率的な農地利用の促進

- (1)農地の利用率向上
- (2)農地集積、集約化
- (3)営農関連基盤・施設の維持管理

2 多様な担い手の活躍促進

- (1)多様な担い手の確保・育成
- (2)個々の経営参画の促進
- (3)農福連携の普及促進

3 鳥獣被害に遭わない地域づくり

- (1)加害個体の捕獲
- (2)農地への侵入防止柵設置
- (3)地域への定着を防ぐ環境整備

テーマ2 安定した農業経営の確立

農業経営者の安定した経営の確立を目指し、既存農業の支援に加え、デジタル技術導入や生産性向上に向けた取組のほか、危機管理に対する取組や付加価値の向上に向けたブランド化の取組を促進します。

1 危機管理への備え

- (1)経営を守るための取組
- (2)植物防疫・畜産防疫の対応

2 DX推進による生産性の向上

- (1)経営分析に基づいた経営発展の取組支援
- (2)IoTやICTを活用した経営力の向上
- (3)スマート農業等による技術力の向上

3 農産物のブランド化

- (1)経営の多角化等による高付加価値化
- (2)農業の安全安心、販売力の向上

テーマ3 都市農村交流の促進と環境問題への対応

活気ある農村の実現と持続的な農業生産を目指し、市民及び都市部住民に対して本市の農業の魅力を発信・体感してもらうとともに、耕畜連携をはじめとした脱炭素につながる農業生産の取組を促進します。

1 地域の魅力の発信力向上

- (1)情報発信と販売促進

2 食育や地産地消の促進

- (1)子どもをはじめとした幅広い世代への食や農の理解の促進
- (2)グリーン・ツーリズムの取組の促進

3 脱炭素につながる取組の促進

- (1)カーボンニュートラルに向けた取組の促進